
モニタリングサイト 1000 沿岸域調査 (磯調査)

調査データの概要と利用上の注意点

(2020年1月版)

目次

I. 利用上の注意点.....	2
II. データセットの概要.....	3
毎年調査.....	3
①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ	3
①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ	4
5年毎調査.....	16
② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ	17
③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ	17
④ 生物標本に関するデータ	17
III. データファイルの種類とその概要.....	18
毎年調査.....	18
①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ	18
①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ	18
5年毎調査.....	19
② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ	19
③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ	19
④ 生物標本に関するデータ	20
IV. データ項目の説明	21
毎年調査.....	21
①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ	21
①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ	24
5年毎調査.....	25
② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ	25
③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ	27

④ 生物標本に関するデータ	29
V. 参考情報.....	32

I. 利用上の注意点

- 本文書にはモニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯調査）で得られた調査データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が示されています。データをご利用される際には、必ず「本文書」及び「マニュアル」をお読み下さい。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- モニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）では、絶滅危惧種や希少種に関わる情報や緯度経度等の詳細な位置情報を、一部保護情報として取り扱っており、データファイルにはこれらの保護情報は含まれていません。保護情報を含めたデータの利用を希望される場合には、環境省自然環境局生物多様性センター（巻末に連絡先を掲載）までお問い合わせ下さい。
- 調査はマニュアルに従って実施されています。ただし、モニタリングを効果的に実施するために、調査方法等が毎年検討されており、その検討結果を受けて、調査マニュアルの記載内容が変更されている場合があります。データのご利用に当たっては、調査報告書に掲載されている当該年度の調査マニュアルをご参照されるようお願いいたします。
- 本事業に関しては、環境省自然環境局生物多様性センターのモニタリングサイト 1000 ホームページ（<http://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>）をご参照下さい。
- 論文やプレゼンテーション等でデータを利用される際には、下記の例を参考にデータの出典を明記して下さい。

「xxx のデータについては、環境省モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる（ISO**.zip、http://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_rockyshores.html、よりダウンロード）。」

“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (ISO**.zip, downloaded from http://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_rockyshores.html).”

注：「**」にはダウンロードしたデータの番号をいれてください（01 等）。

- データに関するご質問は、環境省自然環境局生物多様性センターまでご連絡下さい。
- データは、予告なく随時、変更・修正されます。変更した場合は、ファイルのバージョン番号が変わりますのでご注意下さい。
- 本注意点は、予告なく変更する場合があります。また、新たなデータファイルの公開に併せて項目追加等を更新します。

II. データセットの概要

毎年調査

調査の概要

- ・ 2008 年度から年 1 回調査を実施しています。
- ・ 調査時期は原則として 5 月から 8 月に設定されています。
- ・ 調査サイトは、2008 年に厚岸浜中、南紀白浜、石垣屋良部サイトが、2009 年に安房小湊、天草サイトが、2010 年に大阪湾サイトが設置されました。
- ・ 2008 年度は厚岸浜中、南紀白浜、石垣屋良部サイトで、試行的に別の方法で調査が実施されました。そのため、データファイルには 2008 年度の①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータが含まれていません。
- ・ 2018 年度時点で磯調査のサイト数は 6 サイトです。
- ・ 各サイトの岩礁の潮間帯上部から下部において、さまざまな高さ、方位、傾斜に 25 cm 四方の永久方形枠を 30 個設置して、デジタルカメラで方形枠内の写真を撮影しています。

①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ

- ・ 各永久方形枠内に出現した解析対象種（各サイト 5 種程度）の在・不在を、画像または現地での目視観察によって記録しています。

①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ

- ・ 30 個の永久方形枠のうち選定された 5 箇所の永久方形枠近傍の岩盤に、温度を測定する機器を設置しています。
- ・ 計測頻度は原則として 15 分間隔で通年測定しています。
- ・ 温度データは連続的に記録していますが、原則として機器を毎年交換する必要があるため、調査時期前後の一部のデータを欠損扱いとしています。
- ・ 機器の故障等により、データが得られていない場合があります。

- ・ 調査方法の詳細については、マニュアルをご参照下さい。

(<http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>)

①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ

「ISO01-1.zip」には以下のファイルが含まれています。

- ・ RSAMK_2009-2018_Annual_ver1.xlsx
- ・ RSHMK_2009-2018_Annual_ver1.xlsx
- ・ RSKMN_2009-2018_Annual_ver1.xlsx
- ・ RSOSK_2010-2018_Annual_ver1.xlsx
- ・ RSSRH_2009-2018_Annual_ver1.xlsx
- ・ RSYRB_2009-2018_Annual_ver1.xlsx

①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ

「ISO01-2.zip」には以下のファイルが含まれています。

フォルダ名	ファイル名	備考
HMN	RSHMN_temp_q03_20080816-20090803_Annual_ver1.csv	・保護ブーツなしで測定
HMN	RSHMN_temp_q10_20080816-20090803_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20080816-20090803_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20080816-20090803_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20080816-20090803_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20090805-20100807_Annual_ver1.csv	・保護ブーツなしで測定
HMN	RSHMN_temp_q10_20090805-20100807_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20090805-20100807_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20090805-20100807_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20090805-20100807_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20100809-20110810_Annual_ver1.csv	・保護ブーツなしで測定 ・q03、q10 に一部欠損データあり
HMN	RSHMN_temp_q10_20100809-20110810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20100809-20110810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20100809-20110810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20100809-20110810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20110812-20120729_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q10_20110812-20120729_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20110812-20120729_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20110812-20120729_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20110812-20120729_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20120731-20130804_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q10_20120731-20130804_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20120731-20130804_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20120731-20130804_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20120731-20130804_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20130806-20140823_Annual_ver1.csv	・q15 は全期間欠損のため ファイルなし
HMN	RSHMN_temp_q10_20130806-20140823_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20130806-20140823_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20130806-20140823_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
HMN	RSHMN_temp_q03_20140825-20150727_Annual_ver1.csv	・ q19 に一部欠損データあり
HMN	RSHMN_temp_q10_20140825-20150727_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20140825-20150727_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20140825-20150727_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20140825-20150727_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20150729-20160801_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q10_20150729-20160801_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20150729-20160801_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20150729-20160801_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20150729-20160801_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20160804-20170721_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q10_20160804-20170721_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20160804-20170721_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20160804-20170721_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20160804-20170721_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q03_20170723-20180810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q10_20170723-20180810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q15_20170723-20180810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q19_20170723-20180810_Annual_ver1.csv	
HMN	RSHMN_temp_q26_20170723-20180810_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
KMN	RSKMN_temp_q05_20090525-20100514_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・全ファイルにおいて、2010/2/18以降欠損
KMN	RSKMN_temp_q14_20090525-20100514_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20090525-20100514_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20090525-20100514_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20090525-20100514_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20100516-20110713_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・全ファイルにおいて、2011/2/10以降欠損 ・q05、q14は全期間欠損のためファイルなし
KMN	RSKMN_temp_q17_20100516-20110713_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20100516-20110713_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q05_20110715-20120523_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・全ファイルにおいて、2012/5/23の06:00以降欠損
KMN	RSKMN_temp_q14_20110715-20120523_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20110715-20120523_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20110715-20120523_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20110715-20120523_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q05_20120525-20130526_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・q14は全期間欠損のためファイルなし
KMN	RSKMN_temp_q16_20120525-20130526_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20120525-20130526_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20120525-20130526_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q05_20130528-20140516_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q14_20130528-20140516_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20130528-20140516_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20130528-20140516_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20130528-20140516_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q05_20140519-20150517_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q14_20140519-20150517_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20140519-20150517_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20140519-20150517_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20140519-20150517_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
KMN	RSKMN_temp_q05_20150519-20160522_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q14_20150519-20160522_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20150519-20160522_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20150519-20160522_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20150519-20160522_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q05_20160525-20170524_Annual_ver1.csv	・ q14 に一部欠損データあり
KMN	RSKMN_temp_q14_20160525-20170524_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20160525-20170524_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20160525-20170524_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20160525-20170524_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q05_20170527-20180515_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q14_20170527-20180515_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q16_20170527-20180515_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q17_20170527-20180515_Annual_ver1.csv	
KMN	RSKMN_temp_q20_20170527-20180515_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
OSK	RSOSK_temp_q01_20100612-20110601_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・q08 に一部欠損データあり ・q20 は全期間欠損のためファイルなし
OSK	RSOSK_temp_q03_20100612-20110601_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20100612-20110601_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20100612-20110601_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q01_20110603-20120619_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q03_20110603-20120619_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20110603-20120619_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20110603-20120619_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20110603-20120619_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q01_20120624-20130623_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q03_20120624-20130623_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20120624-20130623_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20120624-20130623_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20120624-20130623_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q01_20130625-20140611_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・全ファイルにおいて、2013/6/28 から開始
OSK	RSOSK_temp_q03_20130625-20140611_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20130625-20140611_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20130625-20140611_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20130625-20140611_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q01_20140615-20150615_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・q01、q03、q06 に一部欠損データあり
OSK	RSOSK_temp_q03_20140615-20150615_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20140615-20150615_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20140615-20150615_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20140615-20150615_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q01_20150618-20160605_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q03_20150618-20160605_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20150618-20160605_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20150618-20160605_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20150618-20160605_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
OSK	RSOSK_temp_q01_20160608-20170524_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q03_20160608-20170524_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20160608-20170524_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20160608-20170524_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20160608-20170524_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q01_20170527-20180613_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q03_20170527-20180613_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q06_20170527-20180613_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q08_20170527-20180613_Annual_ver1.csv	
OSK	RSOSK_temp_q20_20170527-20180613_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
SRH	RSSRH_temp_q04_20080621-20090704_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・全ファイルにおいて、2009/3/16 15:30 以降欠損 ・q20 は全期間欠損のためファイルなし ・保護ブーツなしで測定 ・30 分間隔で測定
SRH	RSSRH_temp_q09_20080621-20090704_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20080621-20090704_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20080621-20090704_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20090706-20100611_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・30 分間隔で測定 ・q04、q24 に一部欠損データあり
SRH	RSSRH_temp_q09_20090706-20100611_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20090706-20100611_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20090706-20100611_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20090706-20100611_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20100613-20110613_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q09_20100613-20110613_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20100613-20110613_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20100613-20110613_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20100613-20110613_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20110616-20120604_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q09_20110616-20120604_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20110616-20120604_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20110616-20120604_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20110616-20120604_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20120607-20130609_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・q11 に一部欠損データあり
SRH	RSSRH_temp_q09_20120607-20130609_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20120607-20130609_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20120607-20130609_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20120607-20130609_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20130611-20140626_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q09_20130611-20140626_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20130611-20140626_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20130611-20140626_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20130611-20140626_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
SRH	RSSRH_temp_q04_20140629-20150602_Annual_ver1.csv	・ q09、q11 に一部欠損データあり
SRH	RSSRH_temp_q09_20140629-20150602_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20140629-20150602_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20140629-20150602_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20140629-20150602_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20150605-20160620_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q09_20150605-20160620_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20150605-20160620_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20150605-20160620_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20150605-20160620_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20160623-20170523_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q09_20160623-20170523_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20160623-20170523_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20160623-20170523_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20160623-20170523_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q04_20170526-20180627_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q09_20170526-20180627_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q11_20170526-20180627_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q20_20170526-20180627_Annual_ver1.csv	
SRH	RSSRH_temp_q24_20170526-20180627_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
AMK	RSAMK_temp_q11_20090808-20100809_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・30分間隔で測定 ・q02、q12、q14、q22は全期間欠損のためファイルなし
AMK	RSAMK_temp_q02_20100813-20110811_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・30分間隔で測定 ・全ファイルに一部欠損データあり
AMK	RSAMK_temp_q11_20100813-20110811_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q12_20100813-20110811_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20100813-20110811_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20100813-20110811_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q02_20110814-20120816_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・q02、q22は30分間隔で測定 ・q22に一部欠損データあり ・q12は全期間欠損のためファイルなし
AMK	RSAMK_temp_q11_20110814-20120816_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20110814-20120816_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20110814-20120816_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q02_20120819-20130523_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・q02、q22に一部欠損データあり ・q12は全期間欠損のためファイルなし
AMK	RSAMK_temp_q11_20120819-20130523_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20120819-20130523_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20120819-20130523_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q02_20130526-20140611_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q11_20130526-20140611_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q12_20130526-20140611_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20130526-20140611_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20130526-20140611_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q02_20140615-20150602_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q11_20140615-20150602_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q12_20140615-20150602_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20140615-20150602_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20140615-20150602_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
AMK	RSAMK_temp_q02_20150605-20160604_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q11_20150605-20160604_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q12_20150605-20160604_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20150605-20160604_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20150605-20160604_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q02_20160607-20170608_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q11_20160607-20170608_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q12_20160607-20170608_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20160607-20170608_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20160607-20170608_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q02_20170611-20180528_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q11_20170611-20180528_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q12_20170611-20180528_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q14_20170611-20180528_Annual_ver1.csv	
AMK	RSAMK_temp_q22_20170611-20180528_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
YRB	RSYRB_temp_q06_20080707-20090721_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・全ファイルにおいて、2009/4/3 15:30以降欠損 ・q01は全期間欠損のため、ファイルなし
YRB	RSYRB_temp_q19_20080707-20090721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20080707-20090721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20080707-20090721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20090723-20100612_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・30分間隔で測定 ・全ファイルにおいて一部欠損データあり ・q06、q19は全期間欠損のため、ファイルなし
YRB	RSYRB_temp_q20_20090723-20100612_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20090723-20100612_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20100614-20110714_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・保護ブーツなしで測定 ・q01、q20、q22は一部に30分間隔のデータを含む ・全ファイルに一部欠損データあり ・q19は全期間欠損のため、ファイルなし
YRB	RSYRB_temp_q06_20100614-20110714_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20100614-20110714_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20100614-20110714_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20110716-20120706_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・q06、q20に一部欠損データあり
YRB	RSYRB_temp_q06_20110716-20120706_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20110716-20120706_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20110716-20120706_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20110716-20120706_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20120708-20130719_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q06_20120708-20130719_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20120708-20130719_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20120708-20130719_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20120708-20130719_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20130721-20140713_Annual_ver1.csv	<ul style="list-style-type: none"> ・全ファイルにおいて、2014/7/13の06:00以降欠損 ・q20は全期間欠損のため、ファイルなし
YRB	RSYRB_temp_q06_20130721-20140713_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20130721-20140713_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20130721-20140713_Annual_ver1.csv	

フォルダ名	ファイル名	備考
YRB	RSYRB_temp_q01_20140716-20150801_Annual_ver1.csv	・ q01、q06、q19 に一部欠損データあり
YRB	RSYRB_temp_q06_20140716-20150801_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20140716-20150801_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20140716-20150801_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20140716-20150801_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20150803-20160720_Annual_ver1.csv	・ q01、q06、q19 に一部欠損データあり
YRB	RSYRB_temp_q06_20150803-20160720_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20150803-20160720_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20150803-20160720_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20150803-20160720_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20160722-20170721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q06_20160722-20170721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20160722-20170721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20160722-20170721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20160722-20170721_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q01_20170723-20180715_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q06_20170723-20180715_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q19_20170723-20180715_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q20_20170723-20180715_Annual_ver1.csv	
YRB	RSYRB_temp_q22_20170723-20180715_Annual_ver1.csv	

5年毎調査

調査の概要

- ・ 2009年度から5年に一度調査を実施しています。
- ・ 調査時期は原則として5月から8月に設定されています。
- ・ 2009年度には5サイトで、2010年度には新たに設置された大阪湾サイトで調査が実施されています。2014年度には6サイトで二度目の調査が実施されました。
- ・ 各サイトの潮間帯上部から下部において、さまざまな高さ、方位、傾斜の岩礁に25cm四方の永久方形枠を30個設置しています。

② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ

- ・ 25cm四方の永久方形枠内に出現した固着性生物と移動性動物を現場で同定し、移動性動物（軟体動物・棘皮動物）の個体数を記録しています。

③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ

- ・ 25cm四方の点格子板（8mm径の穴が7×7点）を使用し、格子点内に占める被度が50%以上を示す生物種を記録しています。計49点の格子点のうち、各固着性生物種が出現した格子点数から出現頻度を算出し、被度としています。

④ 生物標本に関するデータ

- ・ 30個の永久方形枠内に出現した生物種（固着性生物、移動性動物）のうち、出現頻度の高い種をそれぞれ10種程度採集し、標本を作製しています。
- ・ 2009年度調査の天草サイトは標本を作製していません。

- ・ 調査方法の詳細については、マニュアルをご参照ください。
(<http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>)

② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ

「ISO02.zip」には以下のファイルが含まれています。

- RSAMK_specieslist_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSHMN_specieslist_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSKMN_specieslist_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSAOSK_specieslist_2010-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSASRH_specieslist_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSAYRB_specieslist_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv

③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ

「ISO03.zip」には以下のファイルが含まれています。

- RSAMK_quantitative_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSHMN_quantitative_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSKMN_quantitative_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSOSK_quantitative_2010-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSSRH_quantitative_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSYRB_quantitative_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv

④ 生物標本に関するデータ

「ISO04.zip」には以下のファイルが含まれています。

- RSAMK_specimen_2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSHMN_specimen_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSKMN_specimen_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSOSK_specimen_2010-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSSRH_specimen_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv
- RSYRB_specimen_2009-2014_Fiveyear_ver1.csv

III. データファイルの種類とその概要

毎年調査

①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ

【RSxxx_20xx-20xx_Annual_ver#】

- ・ ファイルの名称は、「生態系コード (RS) ・サイトコード (xxx) _年度 (20xx-20xx) _調査の種別 (Annual) _バージョン (ver#) 」となっています。
- ・ サイト毎に個別のファイルになっています。
- ・ 毎年調査のデータ (調査日、方形枠番号、解析対象種名、在・不在 (1, 0) 、方形枠の高さ、方位、傾斜等) が格納されています。
- ・ 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

厚岸浜中	HMN
安房小湊	KMN
大阪湾	OSK
南紀白浜	SRH
天草	AMK
石垣屋良部	YRB

①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ

【RSxxx_temp_qxx_20yymmdd-20yymmdd_Annual_ver#】

- ・ ファイルの名称は、「生態系コード (RS) ・サイトコード (xxx) _調査項目 (temp) _設置方形枠番号 (qxx) _測定期間 (20yymmdd-20yymmdd) _調査の種別 (Annual) _バージョン (ver#) 」となっています。
- ・ 各サイトの機器を設置している永久方形枠かつ測定期間ごとに個別のファイルになっています。
- ・ 温度データ (記録日、記録時間、岩温、方形枠番号、方形枠の高さ、方位、傾斜等) が格納されています。
- ・ 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

厚岸浜中	HMN
安房小湊	KMN
大阪湾	OSK
南紀白浜	SRH
天草	AMK
石垣屋良部	YRB

5年毎調査

② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ

【RSxxx_specieslist_20xx-20xx_Fiveyear_ver#】

- ・ ファイルの名称は、「生態系コード (RS) ・サイトコード (xxx) _出現種 (specieslist) _年度 (20xx-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#) 」となっています。
- ・ サイト毎に個別のファイルになっています。
- ・ 5年毎調査（出現種調査）のデータ（調査日、方形枠番号、移動性／固着性、学名、個体数、方形枠の高さ、方位、傾斜等）が格納されています。
- ・ 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

厚岸浜中	HMN
安房小湊	KMN
大阪湾	OSK
南紀白浜	SRH
天草	AMK
石垣屋良部	YRB

③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ

【RSxxx_quantitative_20xx-20xx_Fiveyear_ver#】

- ・ ファイルの名称は、「生態系コード (RS) ・サイトコード (xxx) _固着性生物の定量調査 (quantitative) _年度 (20xx-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#) 」となっています。
- ・ サイト毎に個別のファイルになっています。
- ・ 5年毎調査（点格子法）のデータ（調査日、方形枠番号、点格子の列位置、点格子の行位置、学名、方形枠の高さ、方位、傾斜等）が格納されています。
- ・ 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

厚岸浜中	HMN
安房小湊	KMN
大阪湾	OSK
南紀白浜	SRH
天草	AMK
石垣屋良部	YRB

④ 生物標本に関するデータ

【RSxxx_specimen_20xx-20xx_Fiveyear_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード (RS) ・サイトコード (xxx) _生物標本 (specimen) _年度 (20xx-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#)」となっています。
- サイト毎に個別のファイルになっています。
- 5年毎調査（生物標本）のデータ（調査日、標本番号、学名、同定者名、採集場所等）が格納されています。
- 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

厚岸浜中	HMN
安房小湊	KMN
大阪湾	OSK
南紀白浜	SRH
天草	AMK
石垣屋良部	YRB

IV. データ項目の説明

毎年調査

①-1 指標的な固着性生物の在・不在データとそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は A（Annual）
（例）HMNA0000001: 厚岸浜中サイト（HMN）の毎年調査（A）

●investigator_id：調査者番号

- ・モニ 1000 沿岸域調査者データベース（DB）の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected：調査（開始、終了）年

- ・4桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected：調査（開始、終了）月

- ・1～2桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
- ・調査月（month_collected）が明確でない場合は調査開始月の値で表示

●day_collected、start_day_collected、end_day_collected：調査（開始、終了）日

- ・1～2桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
- ・調査日（day_collected）が明確でない場合は調査開始日の値で表示

●quadrat_number：方形枠番号

- ・1～30の整数で表示

●latitude：緯度、longitude：経度

- ・世界測地系 WGS84、10進法、小数点以下第2位まで表示
- ・一部保護情報

- scientific_name : 学名、japanese_name : 和名
 - ・対象が種群として扱われている場合は、上位分類群の名前で表示
 - ・調査報告書のデータファイル（表形式）と名称が異なる場合があります。
 - ・石垣屋良部サイトにて、2009 年度に解析対象種として選定されたイワフジツボ *Chthamalus challenger* は、2011 年度の再同定の結果、近縁種の *Chthamalus moro* であることが判明しました。したがって、2009 年度、2010 年度のイワフジツボのデータは *Chthamalus moro* として取り扱っています。
 - ・石垣屋良部サイトにて、2013 年度調査まで「リングビア属」と呼んでいた生物は、2014 年度より「藍藻綱の一種」と表記を変更しました。
 - ・南紀白浜サイトにて、2013 年度調査まで「ボタンアオサ」と呼んでいた生物は、2014 年度より「緑藻綱（アオサ類）」と表記を変更しました。

- presence_or_absence : 在・不在
 - ・在 (1) 、不在 (0)

- identified_by : 同定者
 - ・在・不在を判断した人物

- identification_method : 同定方法
 - ・画像又は目視

- image_id : 画像番号
 - ・方形枠の画像データ番号（撮影年_生態系・サイトコード_方形枠番号）

- image_url : 画像の URL
 - ・方形枠の画像データのリンク先

- elevation : 方形枠の高さ
 - ・整数で表示
 - ・最低水面 CDL からの高さ (cm) で表示
 - ・計測は永久方形枠の設置時に一度実施（2008～2010 年）

- direction : 真北を基準とした時の方位
 - ・方形枠面の方角 (°)
 - ・北を 0°、東を 90°、南を 180°、西を 270° とし、北は磁北（鉄など外力の影響を受けていない状態において方位磁石が指す「北」）を示す。
 - ・方形枠面が真上を向いている場合（斜度が小さい場合）は「Flat」

●inclined_angle : 水平面からの傾斜

- ・ 方形粋面の斜度 (°)
- ・ 水平の場合は 0°

●remarks : 調査 (地点) の備考

- ・ 調査や調査地点に関する備考

●source : レコードの出典

- ・ データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場)
調査業務報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

①-2 磯の岩盤温度とそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+方形枠番号_設置年度+通し番号]、調査名は AT
(Annual_rockTemperature)

(例) HMNAT03_2008_0000001: 厚岸浜中サイト (HMN) の毎年調査の岩盤温度 (AT)、設置方形枠番号 (03) _設置年度 (2008) _通し番号 (0000001)

●record_date：記録日

- ・yyyy/mm/dd で表示

●record_time：記録時間

- ・24 時間表示

●rock_temperature：岩温

- ・整数または小数点以下第 1 位まで表示

●remarks：備考

- ・備考

※データがない（欠測値、該当なし等）場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない（未確定、異常値等）場合は「na」とした。

5年毎調査

② 出現した生物種名と個体数及びそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FSL (Fiveyear_SpeciesList)
- (例) HMNFSL0000001: 厚岸浜中サイト (HMN) の 5 年毎調査 (F) 出現種リスト (SL)

●investigator_id：調査者番号

- ・モニ 1000 沿岸域調査者データベース (DB) の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected：調査 (開始、終了) 年

- ・4 桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected：調査 (開始、終了) 月

- ・1~2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示

●day_collected、start_day_collected、end_day_collected：調査 (開始、終了) 日

- ・1~2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査日 (day_collected) が明確でない場合は調査開始日の値で表示

●time_zone：標準時

- ・±hh:mm で表示

●quadrat_number：方形枠番号

- ・1~30 の整数で表示

●latitude：緯度、longitude：経度

- ・世界測地系 WGS84、10 進法、小数点以下第 2 位まで表示
- ・一部保護情報

- **scientific_name** : 学名、**japanese_name** : 和名
 - ・対象が種群として扱われている場合は、上位分類群の名前で表示
 - ・調査報告書のデータファイル（表形式）と名称が異なる場合があります。

- **identified_by** : 同定者
 - ・同定した人の名前

- **identification_method** : 同定方法
 - ・画像又は目視

- **image_id** : 画像番号
 - ・方形枠の画像データ番号（撮影年_生態系・サイトコード_方形枠番号）

- **number_of_individuals** : 個体数
 - ・永久方形枠内に出現した移動性動物の個体数

- **elevation** : 方形枠の高さ
 - ・整数で表示
 - ・最低水面 CDL からの高さ（cm）で表示
 - ・計測は永久方形枠の設置時に一度実施（2008～2010 年）

- **direction** : 真北を基準とした時の方位
 - ・方形枠面の方角（°）
 - ・北を 0°、東を 90°、南を 180°、西を 270° とし、北は磁北（鉄など外力の影響を受けていない状態において方位磁石が指す「北」）を示す。
 - ・方形枠面が真上を向いている場合（斜度が小さい場合）は「Flat」

- **inclined_angle** : 水平面からの傾斜
 - ・方形枠面の斜度（°）
 - ・水平の場合は 0°

- **remarks** : 調査（地点）の備考
 - ・調査や調査地点に関する備考

- **remarks_on_identification** : 同定の備考
 - ・同定に関する備考

- **migrate/nonmigrant** : 移動性／固着性
 - ・移動性動物または固着性生物

●source：レコードの出典

- ・データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場) 調査業務報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

③ 点格子法による固着性生物の被度とそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要 (メタデータ)、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
 - ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FQ (Fiveyear_Quantitative)
- (例) HMNFQ0000001：厚岸浜中サイト (HMN) の 5 年毎調査 (F) 固着性生物の定量調査 (Q)

●investigator_id：調査者番号

- ・モニ 1000 沿岸域調査者データベース (DB) の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected：調査 (開始、終了) 年

- ・4 桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected：調査 (開始、終了) 月

- ・1~2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示

●day_collected、start_day_collected、end_day_collected：調査 (開始、終了) 日

- ・1~2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査日 (day_collected) が明確でない場合は調査開始日の値で表示

●time_zone：標準時

- ・±hh:mm で表示

- **quadrat_number** : 方形枠番号
 - ・ 1～30 の整数で表示

- **latitude** : 緯度、**longitude** : 経度
 - ・ 世界測地系 WGS84、10 進法、小数点以下第 2 位まで表示
 - ・ 一部保護情報

- **scientific_name** : 学名、**japanese_name** : 和名
 - ・ 格子点に生物が存在しない場合、「no organism」もしくは「無生物」と表示
 - ・ 対象が種群として扱われている場合は、上位分類群の名前で表示
 - ・ 調査報告書のデータファイル（表形式）と名称が異なる場合があります。

- **identified_by** : 同定者
 - ・ 同定した人の名前

- **identification_method** : 同定方法
 - ・ 画像又は目視

- **image_id** : 画像番号
 - ・ 方形枠の画像データ番号（撮影年_生態系・サイトコード_方形枠番号）

- **elevation** : 方形枠の高さ
 - ・ 整数で表示
 - ・ 最低水面 CDL からの高さ（cm）で表示
 - ・ 計測は永久方形枠の設置時に一度実施（2008～2010 年）

- **direction** : 真北を基準とした時の方位
 - ・ 方形枠面の方角（°）
 - ・ 北を 0°、東を 90°、南を 180°、西を 270° とし、北は磁北（鉄など外力の影響を受けていない状態において方位磁石が指す「北」）を示す。
 - ・ 方形枠面が真上を向いている場合（斜度が小さい場合）は「Flat」

- **inclined_angle** : 水平面からの傾斜
 - ・ 方形枠面の斜度（°）
 - ・ 水平の場合は 0°

- **remarks** : 調査（地点）の備考
 - ・ 調査や調査地点に関する備考

●remarks_on_quadrat : 方形枠の備考

- ・永久方形枠に関する備考

●remarks_on_identification : 同定に関する備考

- ・出現種の同定に関する備考

●vertical_position : 点格子の行位置、horizontal_position : 点格子の列位置

- ・格子点の位置

●source : レコードの出典

- ・データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場) 調査業務報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

④ 生物標本に関するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要 (メタデータ)、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number : カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FSP (Fiveyear_Specimen)
- (例) HMNFSP0000001: 厚岸浜中サイト (HMN) の 5 年毎調査 (F) 生物標本 (SP)

●investigator_id : 調査者番号

- ・モニ 1000 沿岸域調査者データベース (DB) の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected : 調査 (開始、終了) 年

- ・4 桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected : 調査 (開始、終了) 月

- ・1~2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示

- **day_collected**、**start_day_collected**、**end_day_collected** : 調査（開始、終了）日
 - ・ 1～2桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査日（**day_collected**）が明確でない場合は調査開始日の値で表示

- **time_zone** : 標準時
 - ・ ±hh:mm で表示

- **latitude** : 緯度、**longitude** : 経度
 - ・ 世界測地系 WGS84、10進法、小数点以下第2位まで表示
 - ・ 一部保護情報

- **phylum**（門）、**class**（綱）、**order**（目）、**family**（科） : 門、綱、目、科の名称
 - ・ 生物種の門、綱、目、科の名称
 - ・ 調査報告書の報告書データファイル（表形式）と表記が異なる場合があります。

- **scientific_name** : 学名、**japanese_name** : 和名
 - ・ 対象が種群として扱われている場合は、上位分類群の名前で表示
 - ・ 調査報告書の報告書データファイル（表形式）と表記が異なる場合があります。

- **identified_by** : 同定者
 - ・ 同定した人の名前

- **year_identified** : 同定年
 - ・ 4桁の整数で表示

- **identification_method** : 同定方法
 - ・ 画像又は目視

- **remarks_on_identification** : 同定の備考
 - ・ 出現種の同定に関する備考

- **collector** : 採集者
 - ・ 採集者の氏名

- **locality** : 採集場所
 - ・ 採集された場所の都道府県および市町村名

- **storage_house_of_specimen** : 収蔵先

- ・ 収蔵した場所

- **source** : レコードの出典

- ・ データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場)
調査業務報告書

- **specimen_number** : 標本番号

- ・ 標本に付属する番号

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

V. 参考情報

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト

<http://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

モニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）調査マニュアル

<http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

作成 2020年5月

編集・発行

環境省自然環境局生物多様性センター

担当：生態系監視科

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1

Tel : 0555-72-6033 FAX : 0555-72-6035

E-mail : mot@biodic.go.jp

URL : <http://www.biodic.go.jp/>

事務局

特定非営利活動法人 日本国際湿地保全連合

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 17-1

城野ビルⅡ 2階

Tel : 03-5614-2150 FAX : 03-6806-4187

URL : <http://japan.wetlands.org/ja/>